

## 社会技術特論(2011 年度夏学期)

金曜日 1 時限(08:30~10:00)

担当:堀井 秀之教授(E-mail: horii@civil.t.u-tokyo.ac.jp)

アシスタント:小松崎 俊作研究員(E-mail: komatsuzaki@civil.t.u-tokyo.ac.jp)

### 概要:

社会問題およびその解決事例を取り上げ、ケースメソッドによる学習とケース作成を通じて、社会技術に関わる知識、問題分析方法・能力、問題解決策立案方法・能力を習得する。

学期前半では主にケースメソッドによる学習を行い、後半はケースの作成を中心とする。

### 関連講義:

問題分析・解決に関しては、「社会技術論(学部 3・4 年, 冬学期, 堀井秀之)」で総合的学習を行う。また、ケースメソッドは「国際プロジェクトのケーススタディ(学部 3・4 年, 夏学期, 堀井秀之)」で、国際プロジェクトに関するケースの学習を行う。

### 必修図書:

「安全安心のための社会技術」(堀井秀之, 2006, 東京大学出版会)

### 講義方針:

#### 【前半:ケースメソッド】

取り上げるケースと学習内容

#### 1. (J) 中国・インドにおけるヤクルトの海外戦略(UT)

---

学習内容: 問題の全体像把握, 問題解決策の立案

---

関連講義: 「国際プロジェクトの事例分析特論(大学院, 冬学期)」

---

参考図書: 「激動するアジア経営戦略—中国・インド・ASEAN から中東・アフリカまで」(安積敏政, 2009 年, 日刊工業新聞社)

「アジアビジネスモデル 60—進化する地域戦略とクロスボーダー展開」(加藤修, 2009 年, エヌエヌエー)

---

#### 2. (E) Brazil Electricity Crisis(Kennedy)

---

学習内容: 問題の全体像把握, 本質的問題の抽出, 政治過程分析

---

関連講義: 「プロジェクトマネジメント(学部 3・4 年, 冬学期)」

「国際プロジェクト序論(学部 2 年, 冬学期)」

「公共経営学(学部 3・4 年, 冬学期)」

---

参考図書: 「国際インフラ事業の仕組みと資金調達—事業リスクとインフラファイナンス」(加賀隆一, 2010 年, 中央経済社)

---

3. (E) Hurricane Katrina(A)～(C) (Kennedy)

---

学習内容: 問題の全体像把握, 問題解決策の立案

---

関連講義: 「自然災害と都市防災(学部/大学院共通, 冬学期)」

「都市災害軽減工学 E(大学院, 夏学期)」

「国土学(学部 3・4 年, 冬学期)」

「地球水循環と社会(学部 3・4 年, 冬学期)」

---

参考図書: 「カトリーナが洗い流せなかった貧困のアメリカ」等多数.

---

ケースタイトル冒頭の J は「日本語ケース」, E は「英語ケース」を表す.

ケースタイトル末尾の () 内は出典を表す.

Kennedy = 「Kennedy School of Government Case Program, Harvard University」

UT = 専攻教員らが独自に作成・編集したケース

**【後半: ケース作成】**

学期後半は, 学生自らケースとする社会問題を選択し, その問題分析・意思決定分析・政治過程分析・解決策立案などをテーマとしたケースを作成する. ケース作成にあたっては, 学生 4～5 人からなるグループワークとし, 成果となるケース文書を最終レポートとして提出する.

ケースは日本語・英語どちらで作成してもよいものとする.

**ケース候補**

(a) カリフォルニア停電の本質的問題と解決策 (Kennedy School「Disaster By Design: California's Experience with Electricity Restructure」の改良)

(b) 1960 年チリ地震津波の教訓 (中央防災会議・災害教訓の継承に関する専門調査会報告書)

(c) エーザイ・インドでの PPP (医薬品アクセスにおける NPO・地場病院との協力)

(d) フィリピン火力発電所案件のプロジェクトファイナンス (中国企業による送配電事業買収も視野に入れた情報収集・ケース作成)

**成績評価:**

出席 30%

ケース分析・発表 30%

ケース作成 40%

**利用ソフトウェア:**

授業中のディスカッションやレポート等に利用する. とともにフリーソフト.

IdeaFragment2

<http://nekomimi.la.coocan.jp/freesoft/ideafrg2.htm>

iEdit

<http://homepage3.nifty.com/kondoumh/software/iedit.html>

スケジュール:

第1回	5月13日	導入(社会技術およびケースメソッドの概要), ケース1配布, S.R.1(問題分析)
第2回	5月20日	補足説明, 全体ディスカッション, S.R.2(解決策検討)
第3回	5月27日	解決策Grディスカッション, 全体ディスカッション, ケース2配布, S.R.3(問題分析) (午後は五月祭準備のため休講だが, 午前は通常通り)
第4回	6月3日	ケース2導入(電力自由化・IPP・IWPPに関する講義), 問題Grディスカッション, S.R.4(本質的問題・解決策)
第5回	6月10日	ケース2解決策・改善策発表, ケース3配布, S.R.4(問題分析)
第6回	6月17日	ケース3補足説明, 問題Grディスカッション, S.R.5(問題分析・解決策検討)
第7回	6月24日	ケース3解決策発表, ケース作成ガイダンス
第8回	7月1日	資料収集, ケース作成方針Grディスカッション
第9回	7月8日	ケース作成作業
第10回	7月9日	ケース作成作業
第11回	7月15日	ケース作成作業
第12回	7月22日	ケース作成状況の発表
	8月上旬	ケース提出期限